

■中国：政府、主要電力・エネルギー事業者の首脳人事を発表

現地紙によると、中国では 2020 年 1 月 16 日に 2020 年初の中央政治局会議が開催され、翌 17 日に国家電網（送配電最大手）、大唐集団（五大発電企業の一社）、華電集団（五大発電企業の一社）、中国石油天然ガス集団（CNPC、三大石油・天然ガス事業者の一社）、中国石油化学集団（三大石油・天然ガス事業者の一社）の首脳人事が一斉に発表された。このうち、国家電網の董事長（会長）であった寇偉氏は、大唐集団の総経理（社長）に異動、後任の国家電網董事長には、江西省の副省長（副知事）であった毛偉明氏が就任した。毛偉明氏は 58 歳、2015 年まで工業情報化部・副部長（工業情報省次官）などを務め習近平政権の産業戦略である「中国製造 2025」の策定に携わっている。また、空席となっていた華電集団の総経理には、華能集団副総経理の葉向東氏が就任することとなった。さらに、勇退する CNPC 董事長の王宜林氏の後任には中国石油化工集団（Sinopec）の戴厚良董事長が就き、中国石油化工集団の後任董事長には、天津市濱海新区書記の張玉卓氏が着任することとなった。なお、張玉卓氏は 2017 年まで最大の石炭事業者であった神華集団（2017 年に五大発電企業の一つ国電集団と合併、国家能源集団となる）の董事長を務めていた。